

### 有楽自治会

会長 関根 秀勝

有楽自治会は、昭和43年12月に佐賀県唐津市出身の学生寮「久敬社塾」(千代ヶ丘2丁目)にて、塾監を会長とした委員会が結成



「有楽でも曳山祭り」の様子です

5丁目)の落成となり、自治会の組織的な活動が始まりました。当地域は、新百合ヶ丘駅北口から世田谷通りを渡り、新百合ヶ丘一丁目から5丁目の麻生区の中で最も利便性が高く、また住環境の良い地域にあります。



防災訓練の様子です

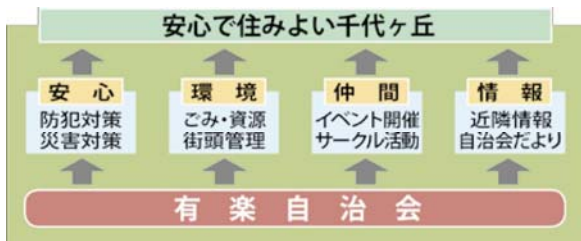
当地域の環境を維持し「住み良い街づくり」のために、自治組織として「有楽自治会」が結成されており、多くの住民の自主的な参加と支援によって運営されています。その母体となる組織は、会長と副会長の3名の他、書記、会計、広報、環境、厚生、監査役各2名の6部

地域内は戸建住宅が中心で、全世帯数は約2,200世帯、内自治会加入世帯数は1,230世帯(加入率約56%)で年間の入退会員の変動は50~80件。この内集合住宅居住者の件数が90%強を占める現状です。

集合住宅居住者の入会減少や戸建住宅居住者の高齢化に伴う退会者増は自治会としての大きな悩みであり、現況を加味した対応策が今後の検討課題の一つでもあります。

さて、自治会の行事として毎年10月の第3日曜日に行われる盛大な「有楽子供曳山まつり」があります。この地に根を下ろした、首都圏に通う唐津出身の学生寮久敬社塾が、昭和41年に郷土の「唐津くんち」を偲び、学生たちにより「千代ヶ丘祭」が始まりました。その後、昭和52年に地域の「有楽子供祭り」が「千代ヶ丘祭」と合流し「有楽子供曳山まつり」となり、今日を迎えています。

平成18年からは久敬社塾のグラウンドを開放していただき、いまや自治会の伝統ある秋祭りも発展し、今年で47回目を迎えます。また、夏には千代ヶ丘小学校で行われる近隣の町会と共に「八町会合同盆踊り大会」を開催、これは地域の活性化、並びに周辺町会との情報交換の場になっています。他には、当自治会にある千代ヶ丘こども文化センターの夏祭り(8月)、正月遊び(1月)等への参加と支援、並びに地域の子供たちが通う金程



中学校、千代ヶ丘小学校等の各種学校行事への参加等、地域密着型の行事を中心に活動を進めています。

自主防犯組織では、青色防犯パトロール隊を中心に月4回の定期巡回を実施。また夜間パトロールは不定期に地域内の危険箇所や防犯灯(38灯)の点検等を行い、安全安心な街づくりの一翼を担っています。また「自主防犯パトロー

## あさおの町会・自治会 Vol.15

### 真福寺町内会

会長 井上 俊夫

私たちの町会は昭和53年2月に「真福寺町内会」として設立されました。新百合ヶ丘リーントウンの開発前までは、東・北・西側を山に囲まれた静かな地域で、そのほとんどが農地であり、50戸弱の世帯で米・柿などを生産・出荷していました。

町名「真福寺」の由来は、王禅寺の門末のひとつとして「星光山真福寺」と称したお寺がありました。明治

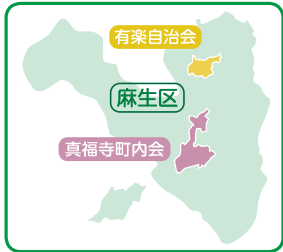


防災研修 (神奈川県総合防災センターにて)

の神仏分離や寺院整理によって明治6年に廃寺となりましたが、地域の名称として残っています。地域の位置は、尻手黒川線の吹込交差点から県道九号線沿いに約1,200

メートル南下した並木橋の辺りまでで、王禅寺西5~8丁目と王禅寺東四丁目の一部が区域です。現在の真福寺町内会の会員数は1,000世帯を超え、少しずつ増加しています。町内会役員は執行部と班長で構成しています。特別委員会として、町内に問題が発生した時に機能する「対策委員会」があります。

町内会運営は毎月初めの日曜日に役員班長会を開催し、事業展開の検討から実施・配布物の分配、日々の問題点の吸い上げ、などを



木曜日において執行部内の意見のすり合わせや各部の活動状況の把握をしています。班長は地域を5班に分割して、一年間を任期として活動しています。

町内会の事業を展開するに当り、真福寺五町会連絡協議会(日光台自治会・栞生新橋町会・市宮真福寺住宅自治会・栞生興人自治会・真福寺町内会)を組織しています。五町会で行うイベントは盆踊り、どんど焼き、合同新年会な

行っています。執行部は班長役員会直前の木曜日において執行部内の意見のすり合わせや各部の活動状況の把握をしています。班長は地域を5班に分割して、一年間を任期として活動しています。

最後に「自由に物が言える」自治会です。地区委員の任期は1年、役員は2年なので閉鎖性、排他性は無く、全員がボランティアで自主活動は民主的に行われています。



どんど焼き (真福寺五町会)

当町内会のみ事業として「ユニークなものはせせ

私たちは町内会活動の原点として「安全・安心」の

町づくりを目指すと共に、災害時にきちんと機能する自主防災組織の構築を目指して、一歩一歩進めて行きたいと考えています。

